

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	高校・大学等との連携による学習充実事業			会計	款	項目	大	小
				01	10	05	06	05
政策	03	3節	学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	公民館			
施策	3-1	いつでも、どこでも、誰もがができる生涯学習の推進		主管課長	鶴巻 浩二			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	高校・大学等の開放講座で、学習機会を希望する市民	意図	高校・大学等と連携した開放講座を実施することで、学習機会を提供。
事業内容	高校・大学との連携による「健康ボクシング」や「サイエンス夢工房」など、各校の特色を活かした開放講座を実施する。			
事業開始から現在までの状況変化	高度化する市民の学習ニーズに応えるため、専門的な知識や教育機能を有する高校・大学の地域開放のニーズと、市民の学習ニーズをマッチングさせるため、公民館との連携がますます必要となってきた。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	講座開催回数	19	19	15	回	→→	「サイエンス夢工房」や「さわやか健康ボクシング」など
②	講座受講者数	753	811	1,403	人	→→	「サイエンス夢工房」や「さわやか健康ボクシング」など	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） ・東京理科大学との連携による「サイエンス夢工房」、流山高校との連携による「さわやか健康ボクシング」を実施した。 ・近隣の高校演劇部に身近に舞台技術の魅力を体験してもらうワークショップを市民会館にて実施した。 ・事務事業シート「舞台ワークショップ・中学校吹奏楽ショップ」を廃し「高校大学等との連携事業」に変更した。 参加者数（高校演劇フェスティバル20分シアター 820人）、（舞台ワークショップ279人）、（吹奏楽ワークショップは未開催）	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,453,000	1,422,400	2,037,600				
事業費(b)(円)		80,000	80,000	60,000				
うち一般財源		80,000	80,000	60,000				
職員給与費(c)(円)		1,373,000	1,342,400	1,977,600				
人役・職員(人)		0.20	0.20	0.30				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	他の近隣大学との連携により、新たな講座を企画し、新たな学習機会を提供する。	③取組における課題(Check)	流山高校、東京理科大学との連携とともに、他の近隣大学との連携により、より幅広く、またより専門的な学びの機会を提供すること。
②H30に実施した取組(Do)	高校や大学等との協働で健康増進や科学教室、芸術文化を専門的に体験し学習してもらう場の提供を行う。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	他の近隣大学との連携により、新たな講座を企画し、新たな学習機会を提供する。